



コーポレート・ガバナンス

当社グループは、企業経営の透明性、健全性、効率性を追求し、すべてのステークホルダーの総合的な利益実現のため、コーポレート・ガバナンスの充実に積極的に取り組んできました。さらに新中期経営計画「Challenge 2019」においても「守りと攻めのガバナンス体制の推進」をすすめていきます。

経営・執行体制

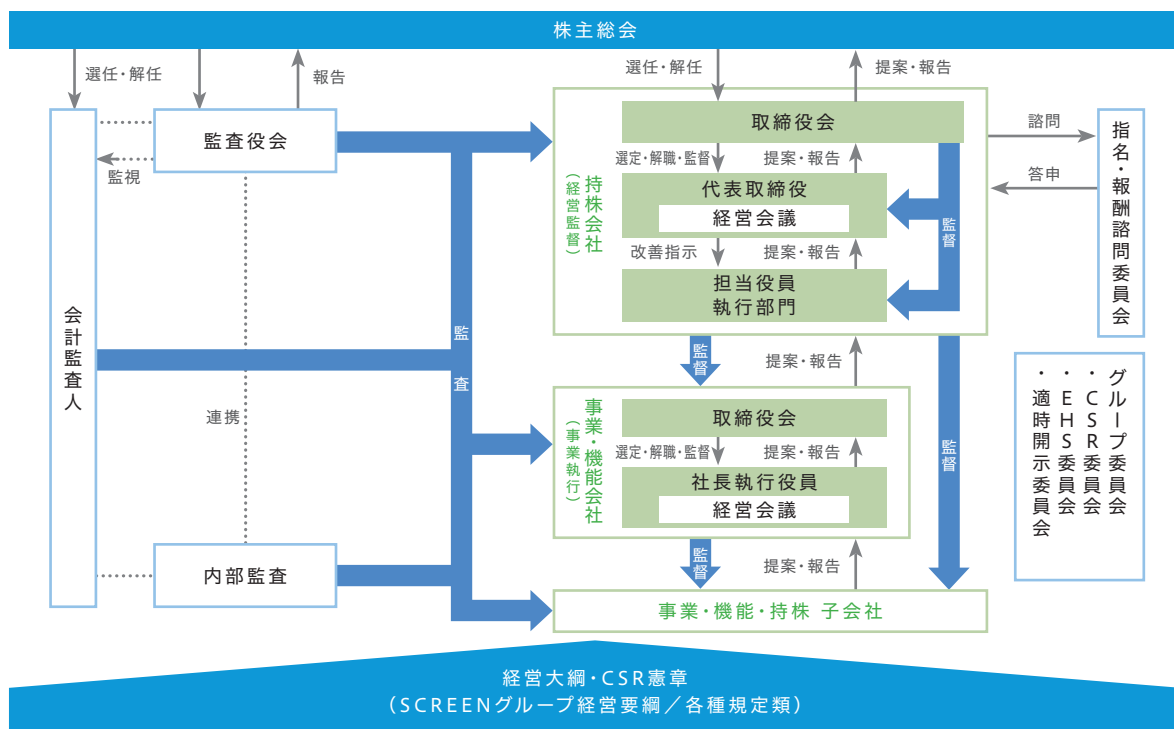
当社は監査役会設置会社の形態の下、取締役会がその機能を最も効率的・効果的に発揮し、経営の監督がグループ全体に行き届くようバランスを考慮しています。現在、取締役会は9名の取締役、監査役会は4名の監査役で構成しています。

取締役会は、経営上の最高意思決定機関として、グループ経営の基本方針や基本戦略、業務執行に関わる重要事項の決定・承認および業務執行の監督を行い、原則月1回の定例開催のほか、必要に応じて臨時の取締役会を開催してい

ます。取締役の経営責任を明確にし、経営環境の変化に迅速に対応できる経営体制を構築するために、取締役の任期は1年とし、毎年株主総会にて株主の信託を得ています。

当社は3名の社外取締役を選任することにより、経営監視機能の強化、取締役会の透明性や、健全性の向上を図り、執行役員制の採用により、経営の効率性・迅速性の向上を図っています。経営執行に関する審議機関としては、常勤取締役、執行役員で構成、必要に応じて事業会社・機能会社計8社の社長が参加する経営会議を原則として月2回開催し、取締役会および代表取締役の意思決定をサポートしています。

● コーポレート・ガバナンス体制図



事業会社・機能会社の経営・執行体制

当社グループでは、2016年4月から事業会社、機能会社においても執行役員制を導入しました。各事業会社、機能会社にも明確な責任と権限を与え、機動的かつ大胆な経営判断を可能とする意思決定システムを構築しています。その他、各社に経営執行に関する審議を行う経営会議を設置し、取締役会および代表取締役の意思決定をサポートしています。

監査体制

監査役会は、原則月2回の定例開催のほか、必要に応じて臨時の監査役会を開催しています。

監査役は、取締役会や経営会議などの重要な会議に出席するほか、取締役や執行役員などへの定期的なヒアリング、重要な決裁書類などの閲覧、当社および当社グループの海外拠点を含む主要な事業所の実地監査を行っており、これらを通じて、会社経営が会社の存続と持続的成長を意図して健全に行われるよう、取締役の職務の執行を監査しています。

コーポレートガバナンス・コードへの対応

当社グループは、2015年6月の「コーポレートガバナンス・コード」適用開始に伴い、従来の報酬諮問委員会を「指名・報酬諮問委員会」に変更して取締役・監査役候補者の選任についても諮問の対象とし、持株会社と事業・機能会社の役割分担、社外役員を含めた取締役・監査役の選任基準の明文化などの対応を行いました。当社の企業理念をもとに事業体制の実現に相応しいコーポレート・ガバナンス体制を構築し、適宜開示の充実を図っています。今後も透明性、健全性及び効率性を追求し、すべてのステークホルダーの総合的な利益を目指してまいります。「コーポレート・ガバナンスに関する報告書」は、ウェブサイトで公開しています。

コーポレート・ガバナンス報告書
http://www.screen.co.jp/profile/20170706_CGR_J.pdf

社外取締役・社外監査役の状況

社外取締役・社外監査役については、多面的な視点から経営の客観性を担保する考えのもと、経験や専門性を勘案して選任しています。

また、社外取締役・社外監査役につきましては、東京証券取引所の定める独立性基準および当社独自に定める「社外役員の独立性に関する基準」に照らし合わせ、独立性の確保を行っており、社外役員5名全員を独立役員として東京証券取引所に届出しています。

取締役会の議案については、これら社外役員も含めメンバー全員に、事前に議案内容の情報を提供し取締役会での議論をより有効なものになるよう努めています。

社外役員の独立性に関する基準
http://www.screen.co.jp/profile/20170509_Ind_Crit_J.pdf

役員報酬

取締役および執行役員の報酬は、「現金報酬」と「株式報酬」の2つで構成されます。

『現金報酬』は、①毎月一定金額が支払われる「基本報酬」と、②各事業年度の業績に基づき支給する「業績連動型報酬」とで構成されています。『株式報酬』は、役位および各事業年度の業績、中期経営計画の達成度などに応じて支給する「業績連動型株式報酬」としております。株式報酬を導入することで、役員報酬と当社株式価値との連動を図り、また、中期経営計画における業績目標達成の意欲を高めること、また、役員の自社株保有の促進により持続的な企業価値向上への意欲につなげ、「会社業績」および「株価」に対する役員の意識をさらに高めることを目指しています。

役員報酬については、代表取締役と社外取締役で構成する指名・報酬諮問委員会に諮問を行い、審議を受けた上で決定しています。

なお、監査役の報酬は基本報酬のみであり、監査役会にて協議し決定しています。

● 社外取締役・監査役の状況(2017年3月期)

名前	兼職先と当社との関係	活動の状況	取締役会出席
社外取締役			
立石 義雄 (オムロン株式会社 名誉会長) 2006年6月就任	購入等の取引関係はありますが、その取引額は僅少です。	長年にわたる経営者としての高い見識と財界活動における幅広い経験に基づき、多様な視点から意見を述べております。	取締役会 16/16回
村山 昇作 (株式会社iPSポータル 代表取締役社長) 2013年6月就任	販売促進に関連する業務委託等の取引関係はありますが、その取引額は僅少です。	日本銀行をはじめ企業経営等さまざまな分野における豊富な経験に基づき、多様な視点から意見を述べております。	取締役会 16/16回
齋藤 茂 (株式会社トーセ 代表取締役会長兼CEO) 2013年6月就任	特別の関係はありません。	企業経営等における豊富な経験に基づき、多様な視点から意見を述べております。	取締役会 16/16回
社外監査役			
堤 勉*1 (京友商事株式会社 相談役) 2012年6月就任～2016年6月退任	特別の関係はありません。	企業経営等における豊富な経験に基づき、中立的かつ客観的な視点から意見を述べておりました。	取締役会 3/3回 監査役会 6/6回
西川 健三郎 (しがぎんリース・キャピタル株式会社 代表取締役社長) 2014年6月就任	特別の関係はありません。	企業経営等における豊富な経験に基づき、中立的かつ客観的な視点から意見を述べております。	取締役会 16/16回 監査役会 25/25回
西 良夫*2 (株式会社京都総合経済研究所 代表取締役会長) 2016年6月就任	特別の関係はありません。	企業経営等における豊富な経験に基づき、中立的かつ客観的な視点から意見を述べております。	取締役会 13/13回 監査役会 19/19回

*1 堤氏は、2017年6月に京友商事株式会社 代表取締役社長を退任し現職に就任
*2 西氏は、2017年6月に烏丸商事株式会社 代表取締役会長を退任し現職に就任

コンプライアンス・リスクマネジメント

「SCREENグループCSR憲章」に基づき、健全な企業活動推進に取り組んでいます。海外グループ会社でのコンプライアンスについては、現地の弁護士とともに状況を把握し、課題抽出から改善まで取り組んでいます。

また、経営に影響を及ぼす可能性があるリスクを軽減す

るため、当社の取締役社長をリスクマネジメント最高責任者とし、CSR・グループ監査室が事務局となって、グループ全体でリスクマネジメントに取り組む体制を確立しています。当社グループの営業秘密の管理手法に関してはウェブサイトの「営業秘密の管理」に詳細を掲載しています。

http://www.screen.co.jp/csr/management/risk.html

ディスクロージャーポリシーの策定・公表

当社グループは、株主・投資家をはじめとするステークホルダーが当社への理解をより深めていただけるよう、「SCREENグループCSR憲章」に定める「企業情報の適切な開示」に基づいて、透明性、公平性、継続性を基本に、適時かつ適切な情報開示に努めることを基本方針としたディスクロージャーポリシーを策定、公表をしています。

今後も、株主・投資家の皆さまとの建設的な対話の実施に有効と考えられる情報は積極的に開示していきます。

ディスクロージャーポリシー
http://www.screen.co.jp/ir/disclosure_policy.html

株主との対話

当社グループのIR活動は、株主・投資家の皆さまに経営ビジョン・事業または財務状況などを、適時かつ正確に分かりやすくお伝えすること、「皆さまの声」をできる限り経営に伝え、反映させることを心掛け、企業価値の最大化を目指しています。また、経営レポートやインベスターズガイド、株主通信などを発行するとともに、ウェブサイトには、決算説明会資料などのIR情報、製品リリースなどを掲載し、適正な情報開示に努めています。

株主総会は、多くの株主さまにご参加いただけるよう、集中日を避けて開催し、招集通知は早期発送を行っています。個人や法人などの株主さまにはインターネットを利用して、また機関投資家の皆さまには議決権電子行使プラットフォームから議決権を行使できる仕組みも採用しています。海外の投資家の皆さまには、招集通知の英文要約を「TDnet




(Timely Disclosure network)」で提供するほか、ウェブサイトにも掲載しています。株主総会招集通知や議決権行使結果をウェブサイトに掲載することで、株主総会の透明性の確保に努めています。

IR情報
http://www.screen.co.jp/ir/index.html

対話型IR活動実績(2017年3月期)

- 決算説明会：4回
- 機関投資家、アナリストからの取材対応：約400回
- 海外IR活動：3回(地域：北米、欧州、アジア)
- 機関投資家向け・国内開催カンファレンス：8回
- 機関投資家向け工場見学：2回
- 個人投資家向け会社説明会：13回
- 個人投資家向け工場見学：1回

主な社会貢献活動

次世代育成支援	SCREENグループでは、小学生、中学生や高校生などの事業所見学や学習体験の受け入れをはじめ、「京都モノづくりの殿堂・工房学習」の出前授業、文部科学省主催サイエンス・インカレの協賛で「SCREEN賞」の提供などさまざまな学習体験の場を提供することに協力しています。また海外においては、ニューヨークでの国際ロボット競技会への協賛を行っています。	
地域社会との交流	SCREENホールディングスでは、日本三大祭りの一つ「祇園祭山鉾巡行の曳き手」や「祇園祭ごみゼロ大作戦」へのボランティア参加をしました。また琵琶湖博物館への企業協賛や京都市動物園のエサ代サポーターとしての協賛、平安京羅城門模型移設プロジェクトへの協賛を行いました。	
社会福祉	SCREENグループでは、発展途上国の子供の給食のために寄付される「TABLE FOR TWO」活動への参加や、障がい者の就労支援として障がい者施設のお菓子などの販売を社員食堂で行っています。また障がいのある人が持つ高い創造性や芸術性が現れる絵画(天才アートKYOTO所属)を事業所内に展示することも始めました。韓国での拠点では、子供、低所得者や病人など、幅広い方への支援をしています。イスラエルの拠点では、恵まれない家庭への寄付や食糧支援、目の不自由な方々の団体への寄付や施設でのお手伝いをしています。	
環境美化	SCREENグループでは、各事業所周辺での定期清掃を実施しています。また琵琶湖周辺や、彦根市高宮町内の河川清掃活動を地元の人達と協力して実施しています。公益社団法人京都モデルフォレスト協会の会員として、森林整備のお手伝いをしています。	